

開会挨拶

中田英雄

(筑波大学教育開発国際協力研究センター長)

新年明けましておめでとうございます。

筑波大学教育開発国際協力研究センター長の中田英雄です。本日は、文部科学省、筑波大学、JICA 共催の平成 21 年度海外協力隊派遣現職教員帰国報告会—国際協力と帰国後の社会貢献—にお越しくささいましてありがとうございます。

本報告会では、平成 19 年度に派遣され、教育協力活動を無事に終えて帰国した海外協力隊派遣現職教員の方々にご出席いただき、任国での活動結果をご報告していただきます。16 カ国のそれぞれの国で教育協力活動に従事した 16 名の方にご報告していただきます。16 名の方は約 2 年間にわたる教育協力活動を通してどのような成果を上げたのでしょうか。成果を上げるために様々な苦勞や困難があったことでしょうか。困難をどのようにして克服し、解決したのでしょうか。帰国後にこみあげてきた喜びや達成感、充足感を皆さんはどのように表現するのでしょうか。派遣中の体験を帰国後の教育活動でどのように活用しようとするのでしょうか。限られた時間のために、16 名の方のすべての報告をお聞きすることができないのは大変残念に思います。

本会では帰国報告に続いて文部科学省国際協力イニシアティブの成果を宮城教育大学、愛知県立大学、筑波大学が発表いたします。海外協力者及び派遣現職教員を支援するために各大学が取り組んでいる最先端の研究活動が紹介されます。

最後に、海外ボランティア経験教員の社会還元について佐藤真久東京都市大学講師よりお話をいただきます。帰国した派遣現職教員のみなさんは、帰国したから役目を終えたと思わないで、帰国後も学校をはじめ地域社会に対して社会還元という役割が与えられていることを強く認識していただきたいと思います。

プログラム 5 の帰国報告会において活発な質疑応答をしていただきますよう皆様にお願ひして、私のご挨拶とさせていただきます。